

外国語活動 学習指導案

1 単元名 : 道案内をしよう (Lesson 5) (第1限目)

第6学年

2 使用教材 : 英語ノート2 (英語ノート2 pp. 30, 31)

3 本時のねらい : まちなかにある様々な建物などの言い方や方向や動きを指示する表現に興味をもち、理解しようとする。

4 本時の展開

時間	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備
8	<p>〈ウォーミングアップ〉</p> <p>【Let's Chant】“♪The Pinocchio♪”</p> <p>○●CDを聞かせ、みんなで動作をする。</p> <p>【Let's Play】“Please Game” (プリーズゲーム)</p> <p>○プリーズゲームのやり方を説明する。</p> <p>A: Please turn left/turn right/stand up/sit down/jump/turn around.</p> <p>●プリーズの指示でturn left/turn right/stand up/sit down/jump/turn aroundなどの動作をする。</p>		<p>児童はright/leftの言い方に慣れることができる。</p> <p>児童はTurn left/right.の言い方に慣れることができる。</p> <p>※pleaseが聞こえたら、言われた動作をすることを確認する。</p>
10	<p>【Let's Chant】“まちなか鉄道”</p> <p>○スライドを見ながらまちなかにある施設や建物を英語で言う。</p> <p>●1回目は、スライドを見ながら英語での言い方を確認する。</p> <p>○発音やアクセントや音節の違いを確認する。</p> <p>●スライドを見ながらゆっくりと言う。</p> <p>●2回目は、リズムに合わせて言う。</p> <p>C: supermarket, bookstore, post office, hospital, school, public hall, fire station, bank, train station, police box, gas station, drug store, restaurant, barbershop, park, flower shop</p>		<p>児童はまちなかにある施設や建物の英語での言い方を知ることができる。</p> <p>日本語と英語の発音やアクセント音節等の違いに気付くことができる。</p> <p>※文字が大きくなっているところは、アクセントと言い、他のところより少し強く(長く)言うことを知らせる。</p> <p>△スライド・プロジェクター・スクリーン・リズムボックス</p> <p>◎評価規準(1) 〈振り返りカード〉</p>
14	<p>【Let's Play】“まちなかすごろく”</p> <p>○まちなかすごろくのゲームのやり方を説明し、ゲームの進行に必要な英語表現を全体で確認する。</p> <p>H: Go straight./Turn right./Turn left.</p> <p>●すごろくシートに建物カード3枚を貼る。</p> <p>●代表児童は3枚の建物カードから1枚引き、どこに行くかを宣言する。</p> <p>●さいころの目の数だけ地図上を進める。進める際は、進行方向を英語で言う。</p> <p>●目的地に到着したら建物の写真カードがもらえる。</p>		<p>児童は、方向や動きを指示する英語の表現 (Go straight./Turn right./Turn left.)を理解することができる。</p> <p>△掲示用すごろくシート・コマ・さいころ・建物写真カード</p>
10	<p>【Let's Listen】“ボブたちが着いたところを聞き取ろう”</p> <p>○英語ノートのCDを聞かせ、登場人物がどこに行ったかをノートに書き込ませる。(Bob/Julia/Ken/Mai)</p> <p>H: Now listen to the CD/me and find where they will go.</p> <p>●聞き取ったことを英語ノートに書き込む。</p>		<p>児童は4人の到着場所を聞き取ることができる。</p> <p>△英語ノートpp. 30, 31・CD</p> <p>◎評価規準(2) 〈英語ノート点検・振り返りカード〉</p>
3	<p>【振り返り・あいさつ】</p> <p>●振り返り(自己評価)カードに記入する。</p> <p>○●あいさつをする。</p>		△振り返りカード

5 評価規準

- (1) supermarketやrestaurantのような日本語と英語の発音やアクセント・音節の違いが分かる。(言語意識)
- (2) 方向や動きを指示する表現を聞き取って、目的地に到着することができる。(聞くこと)

外国語活動 学習指導案

第6学年

- | | |
|---|---|
| 1 | 単元名 : <u>道案内をしよう</u> (第2限目) |
| 2 | 使用教材 : <u>まちなか鉄道・コンタクトゲーム・まちなかすごろく</u> |
| 3 | 本時のねらい : <u>施設や建物の言い方や方向や動きを指示する表現を聞いて理解する。</u> |
| 4 | 本時の展開 |

時間	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備
8	〈ウォーミングアップ〉 【Let's Chant】“♪The Pinocchio♪” ○●CDを聞かせ、みんなで動作をする。 【Let's Play】“Please Game” (プリーズゲーム) A: Please turn left/turn right/stand up/sit down/jump/turn around. ●プリーズの指示でturn left/turn right/stand up/sit down/jump/turn aroundなどの動作をする。		児童はright/leftの言い方に慣れることができる。 児童はTurn left/right.の言い方に慣れることができる。
6	【Let's Chant】“まちなか鉄道” ○スライドを見ながらまちなかにある施設や建物を英語で言う。 ●リズムに合わせて言う。 C: supermarket, bookstore, post office, hospital, school, public hall, fire station, bank, train station, police box, gas station, drug store, restaurant, barbershop, park, flower shop, bus stop		児童は、まちなかにある施設や建物の英語での言い方を知ることができる。 ※アクセントに気を付けながらリズムに合わせてテンポよく言うようにさせる。 △スライド・プロジェクター・スクリーン・リズムボックス
15	【Let's Play】“Contact!” (コンタクトゲーム) ○まちにある施設や建物をカードにし、カードを引いて置いていき、接したカードがもらえることを説明する。 ●じゃんけんをして順番を決め、カードの山から1枚引いてシートの上に置き、カードの英語を言う。 ●辺が接するところと同じカードが出たらContact!と言って2枚のカードをもらう。 ●カードがなくなるまで続ける。		児童は、まちにある施設や建物の英語での言い方を知ることができる。 ※カードの英語を言い、辺が接するところと同じカードが出たらcontactと言うことを確認する。 △contact用シート カード24枚×8グループ ◎評価規準(1) 〈振り返りカード〉
14	【Let's Play3】“まちなかすごろく” ○まちなかすごろくのゲームのやり方を説明し、ゲームの進行に必要な英語表現を全体で確認する。 I want to go to ~. Turn right./Turn left./Go straight. ●建物カードの1枚を引き、どこに行くかをグループで宣言する。 ●さいころの目の数だけ地図上の建物に近づく。 ●コマを進める際は、進行方向を英語で言って進める。 ●目的地に到着したら、建物の写真カードがもらえる。		児童は、方向や動きを指示する英語の表現 (Turn right./Turn left./Go straight.) を理解することができる。 △グループ用すごろく・さいころ・建物カード ◎評価規準(2) 〈振り返りカード〉
2	【振り返り・あいさつ】 ●振り返り (自己評価) カードに記入する。 ○●あいさつをする。		△振り返りカード

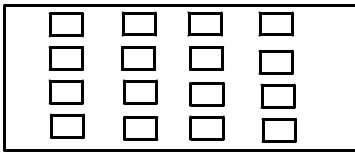
5 評価規準

- | |
|---|
| (1) 施設や建物の英語を言うことができる。(話すこと)
(2) 方向や動きを指示する表現を英語で言うことができる。(話すこと) |
|---|

外国語活動 学習指導案

第6学年

- 1 単元名 : 道案内をしよう (第3限目)
- 2 使用教材 : 英語ノート2 (p p. 34, 35)・まちなか鉄道
- 3 本時のねらい : 道案内の仕方の違いに気付くとともに,相手に目的地を伝えたり案内に従って目的地に行ったりする。
- 4 本時の展開

時間	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備
7	<p>〈ウォーミングアップ〉</p> <p>【Let's Chant】“♪The Pinocchio♪”</p> <p>○●CDを聞かせ,みんなで動作をする。</p> <p>【Let's Play】“Please Game” (プリーズゲーム)</p> <p>A: Please turn left/turn right/stand up/sit down/jump./turn around.</p> <p>Go up stairs./Go down stairs.</p> <p>●プリーズの指示でturn left/turn right/stand up/sit down/jump/turn aroundなどの動作をする。</p>		<p>児童はright/leftの言い方にかかなり慣れることができる。</p> <p>児童はTurn left/right.の言い方にかかなり慣れることができる。</p> <p>※Go up stairs./Go down stairs.の言い方を付け加える。</p>
5	<p>【Let's Chant】“まちなか鉄道”</p> <p>○スライドを見ながら,まちなかにある施設や建物を英語で言う。</p> <p>●リズムに合わせて言う。</p> <p>H: supermarket, bookstore, post office, hospital, school, public hall, fire station, bank, train station, police box, gas station, drug store, restaurant, barbershop, park, flower shop, bus stop</p>		<p>児童は,まちなかにある施設や建物の英語での言い方を知ることができる。</p> <p>△スライド・プロジェクター・スクリーン・リズムボックス</p>
31	<p>【Activity】“道案内ゲーム”</p> <p>○道案内ゲームのやり方を説明する。2班ずつ行い,グループ内で案内する側,案内される側になり,道案内の表現を使って目的地まで案内するよう説明する。</p> <p>●案内される側が行き先を決めるカードを1枚を引く。案内する側はWhere do you want to go?と聞く。案内される側はカードを見て,I want to go to ~.という表現を使って行き先を伝える。その後,案内する側は地図を見ながら案内する。案内される側が目的地に着いたら,建物カードをめくり,正解ならばカードに書いてある点数がもらえる。全ての班のメンバーが終わったら,案内する側とされる側を交代して再度行う。</p> <p>P: Where do you want to go?</p> <p>P: I want go to ~.</p> <p>P: Go straight two blocks./Turn right./ Turn left. …</p> <div style="text-align: center;">  </div>		<p>児童は,友達が目指す建物への進み方を英語で教えることができる。また,友達が言う英語での案内を聞いて指示通りに動くことができる。</p> <p>※教室に椅子を並べて道案内シートと同じ交差点を作り,椅子の上に建物カードを裏返しにして置く。4班1チームとし,2チーム対抗で各班の合計点数で競う。</p> <p>△建物カード(中)建物カード(大)道案内シート(地図)</p> <p>◎評価規準(1) 〈振り返りカード〉</p> <p>◎評価規準(2)① 〈振り返りカード〉</p> <p>◎評価規準(2)② 〈振り返りカード〉</p> <p>△振り返りカード</p>
2	<p>【振り返り・あいさつ】</p> <p>●振り返り(自己評価)カードに記入する。</p> <p>○●あいさつをする。</p>		△振り返りカード

5 評価規準

- (1) 道案内の仕方の違い (Go straight two blocks. 等の言い方) に気付くことができる。(異文化理解)
- (2) ①友達が目指す建物への進み方を英語で教えることができる。(話すこと)
- ②友達が言う英語での案内を聞いて,指示通りに動くことができる。(聞くこと)

外国語活動 学習指導案

1	単元名：道案内をしよう (第4限目)	第6学年
2	使用教材：英語ノート2 (pp. 34, 35)・まちなか鉄道・コンタクトゲーム	
3	本時のねらい：建物や施設の言い方や道案内の表現を生かして、道案内ゲームを楽しんだり、ALTを案内したりする。	
4	本時の展開	

時間	学習内容	○指導者の活動 ●児童の活動 ※指導上の留意点 △準備
10	〈ウォーミングアップ〉 【Let's Play】“Please Game” (プリーズゲーム) A: Please turn left/turn right/stand up/sit down/jump/turn around/go up stairs/go down stairs. ●プリーズの指示でturn left/turn right/stand up/ sit down/jump/turn around/go up stairs/go down stairsなどの動作をする。 【Let's Chant】“♪The Pinocchio♪” ○●CDを聞かせ、みんなで動作をする。 【Let's Chant】“まちなか鉄道” ○スライドを見ながらまちなかにある施設や建物を英語で言う。 ●リズムに合わせて言う。 H: supermarket, bookstore, post office, hospital, school, public hall, fire station, bank, train station, police box, gas station, drug store, restaurant, barbershop, park, flower shop, bus stop	児童はTurn left/right. の言い方に十分慣れることができる。 児童はright/leftの言い方に十分慣れることができる。 児童は、まちなかにある施設や建物を英語で言うことができる。 △スライド・プロジェクター・スクリーン・リズムボックス
10	【Let's Play2】“Contact!” (コンタクトゲーム) ○コンタクトゲームのやり方・ルールを確認する。 ●じゃんけんをして順番を決め、カードの山から1枚引いてシートの上に置き、カードの英語を言う。辺が接するところに同じカードが出たらContact!と言ってカードをもらう。	児童は、まちにある施設や建物の英語で言うことができる。 △contact用シート カード24枚×8グループ
15	【Activity】“道案内ゲーム” ○道案内ゲームを4班ずつ行い、グループ内で案内する側、案内される側になり、道案内の表現を使って、目的地まで案内するよう説明する。 ●案内される側が行き先を決めるカードを1枚を引き、案内する側はWhere do you want to go?と聞く。案内される側はカードを見てI want go to ～. という表現を使って、行き先を伝える。その後、案内する側は地図を見ながら案内する。案内される側が目的地に着いたら、建物カードをめくり、正解ならばカードに書いてある点数がもらえる。全ての班のメンバーが終わったら、案内する側とされる側を交代して再度行う。 P: Where do you want to go? P: I want go to ～. P: Go straight two blocks./Turn right./Turn left. …	児童は、友達が目指す建物への進み方を英語で教えることができる。また、友達が言う英語での案内を聞いて指示通りに動くことができる。 ※ゲームに参加していないグループの児童は、自分だったらどのように案内するかをイメージさせる。 △建物カード(中) 建物カード(大) 道案内シート(地図) ◎評価規準(1)① 〈振り返りカード〉 ◎評価規準(1)② 〈振り返りカード〉
7	【Activity】“ALTを～案内しよう!” ○新任のALTを学校のある場所に無線を使って道案内することを告げる。 ●道案内の表現を使って目的の教室まで案内する。	児童は地図でALTの現在地を確認しながら、ALTを案内することができる。 △無線2
3	【振り返り・あいさつ】 ●振り返り(自己評価)カードに記入する。 ○●あいさつをする。	△振り返りカード

5 評価規準

- (1) ①友達が目指す建物への進み方を英語で教えることができる。(話すこと)
 ②友達が言う英語での案内を聞いて、指示通りに動くことができる。(聞くこと)